両側ゼロクリアランス・シフトドラム式大型路面切削機

路面切削機 W 200 H / W 200 Hi

柔軟性の高い大型路面切削機

- 油圧駆動式切削ドラムを備えた切削ドラムユニットは、左右にそれぞれ400 mmシフトし、構造物際まで簡単に切削を行うことができます。
- W 200 H / W 200 Hiは、機械の左右両側がゼロクリアランスとなっています。
- W200Hiは排出ガスEC Stage 3b / US Tier 4iに準拠し(国内オフロード法2011年基準少数生産車)、
  VCS集塵装置により環境排出物を低減します。
- 調節可能な切削ドラム速度により、様々な現場状況に応じて、高い切削性能を発揮します。
- レベルプロ自動レベリングシステムは、さまざまなレベリングセンサーとともに使用することができるため、様々な施工現場の条件に柔軟に対応し、非常に正確な切削結果を約束します。

両側ゼロクリアランスで高いパフォーマンスを実現

ヴィルトゲン路面切削機W 200 H / W 200 Hiは2.1 mの作業幅を実現することによって、あらゆる種類の大規模補修工事を迅速かつ低コストに完了させることができます。
W 200 H / W 200 Hiは、例えば交通方向に対して逆走切削ができないような、限られた現場条件で の施工が要求されるプロジェクトでは、特に理想的な路面切削機であるといえます。革新的な成功の秘訣ーそれは、W 200 H / W 200 Hiが搭載しているゼロクリアランス機構にあります。このゼロクリアランス機構により、機械の右側だけではなく両側で縁石際まで切削施工を行うことができます。また、切削ドラムユニットは油圧で最大で800 mmシフト移動させることができるため、構造物の端部まで切削が可能です。さらに、この大型路面切削機は操作が簡単な上、その包括的なカメラモニターと卓越した視界性により、オペレータ1人でも作業が可能な構造になっております。

クイックオペレーション

多機能コントロールディプレイは、グラフィック表示を使用して、操作パラメータとメンテナンスの詳細に関する分かりやすい情報を提供します。

作業スペースの左右に、同じ機能を備えたコントロールパネルがそれぞれ装備されています。

簡単な操作で性能と生産性を向上

W 200 H / W 200 Hiの操作に当てはまる基本理念とは、「シンプルさ」です。制御装置の数を減らし、これまでオペレータが行っていた多くの作業をWIDRIVE(ヴィードライブ)機械管理システムが行います。見やすく配置された制御装置はシンボルマークで表示されており、オペレータに使いやすくグループ化されているため、作業疲労が軽減されます。

外部パネルは、機械を地上から迅速かつ容易に操作するのに用いられます。さらに、見やすく設計されたカラーコントロール画面が、機械と操作に関する主要なパラメータをオペレータに絶えずお知らせします。革新的でユーザーフレンドリーな診断ツールにより、機械オペレータは作業に集中することができます。そのため、オペレータは、比較的短い訓練期間でも直感的にW 200 H / W 200 Hiの操作方法を覚えることができます。

レベルプロー独自のレベリングシステムによる正確な切削施工

レベルプロがもたらす非常に精密な切削結果

ヴィルトゲンは、特に路面切削機のためにプログラムされたソフトウェア含む極めて精密なレベリングシステム、レベルプロを独自に開発しました。レベルプロシステムは、分かりやすく設計されたレベルプロディスプレイ、コントローラ、および数個のセンサーで構成されています。

グラフィック式のレベルプロディスプレイは、主要パラメータが明瞭に読み取れます。左右の切削深さの目標値および実際値、ならびにクロススロープパラメータは、作業進行中も常時ディスプレイ上に分かりやすく表示されます。

加えて、メモリ機能は、目標値の事前設定、保存、および呼び出しに極めて便利です。

‹
レベルプロは、地上からも操作することができます。

ワイヤーロープセンサーは、サイドプレートで切削深さを測定します。

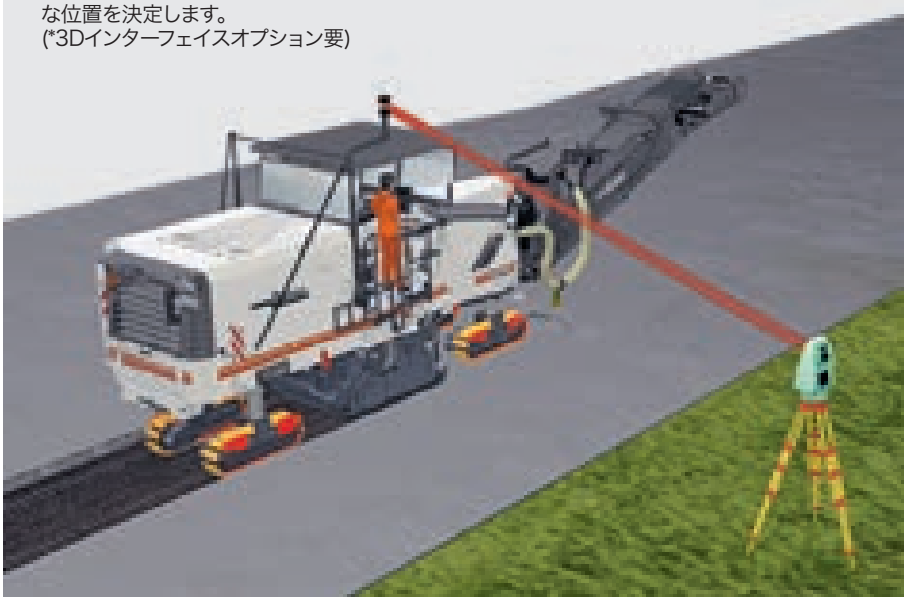
「ラピッドスロープ」クロススロープセンサーは、路面の横断勾配を非常に高い精度で計測します。

レベリングセンサー

自動レベリングシステムには、ワイヤーロープセンサー、クロススロープセンサー、超音波センサーなど、さまざまなセンサーを組み込むことができます。2つのワイヤーロープセンサーのそれぞれが、サイドプレートの左側と右側で切削深さを測定します。
ラピッドスロープは、非常に迅速かつ正確な横断スロープセンサーで、レベリングの品質を保ちながら作業速度の高速化を可能にします。

レベルプロは、例えばオプションのマルチプレックスシステム、レーザーレベリング、あるいは3Dレベリングインターフェイスなどによって簡単に拡張することができます。マルチプレックスシステムは、機械片側につき3つのセンサー測定ポイントを分析します。これは、平坦性を得る際に非常に効果的です。

3Dアプリケーションでは、路面切削機に設置されたプリズムの位置をトータルステーションが特定し、切削ドラムの正確な位置を決定します。
(*3Dインターフェイスオプション要)



切削作業のみに集中できます

オペレータの視界性向上に最適なアングル

W 200 H / W 200 Hiは、オペレータの操作をサポートするために、工夫に富んだ視界性を実現しています。前部機械フレームの極端に細いデザインと両側のくびれデザインにより、前部トラックユニットと切削端の両方において、オペレータが十分な視界を確保できるようにしています。

オペレータの体格に合わせてそれぞれのコントロールパネルを調節し、操作箇所の良好な視界を確保できるようにします。また、回転アームを使用して、高さ調節可能な座席をコントロールパネルの方や機械の切削端の向こう側へ移動させることができます。オペレータは、さまざまなユーザー固有の調節オプションを使用することにより、座っているときでも立っているときでもベストな視界位置を確保できます。

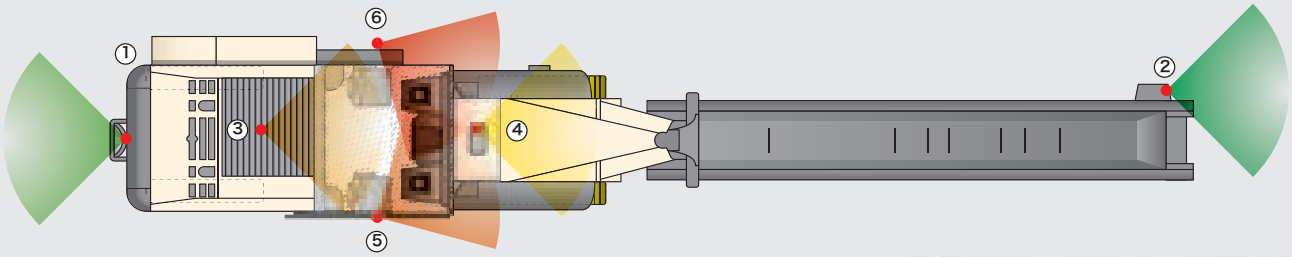
完全防振の操作台と防振マウントに取り付けられたエンジンが、オペレータへの振動の影響を最小限にします。保護キャノピをどちらかの側へ移動させ、風雨や日差しをしのぐことができます。

保護キャノピを移動させることにより、街路樹や街灯、看板を安全によけることができます。

調節可能なコントロールパネル、個々に調節可能な快適な座席、立った状態でも座った状態でもベストな視界を確保しながら人間工学に基づいた作業を行うことができます。

常に機械情報を最も判りやすく

カメラの概要:



① 後部カメラ

② コンベア端部カメラ

③ スクレーパブレードカメラ

④ 前部中央カメラ

⑤ 前部右側カメラ

⑥ 前部左側カメラ

最大6台のカメラ(オプション)で、切削プロセスの全体的な画像を機械オペレータに提供します。

一目で分かる作業パラメータとカメラ画像

操作台の機械オペレータは、W 200 H / W 200 Hiの機体周囲の状況だけでなく、現在の作業における路面切削機のパフォーマンスについても常に最新の情報を得ることができます。オペレータは、さまざまな作業エリアについて、最大6台(オプション)の異なるカメラ設定をコントロール画面の最大2つのディスプレイ(オプション)に表示することができます。また、現在の切削現場に関する主要パラメータの概要を表示することもできます。

コントロールシステムは、切削対象物密度と切削幅の入力に基づいて作業パラメータを自動的に計算します。

コントロールシステムは、積み込んだトラックの数、廃材の重量や体積、切削範囲の規模などの情報を表示します。

多機能コントロール画面をカメラモードに切り替えて、重要な作業プロセスを監視することができます。お客さまの仕様に応じて、2台または6台(オプション)の高解像度カラーカメラを取り付けることができます。6台のカメラを使用する場合は、2つのカメラ画像を同時に表示できるようにするために、追加のカメラディスプレイを取り付けます。

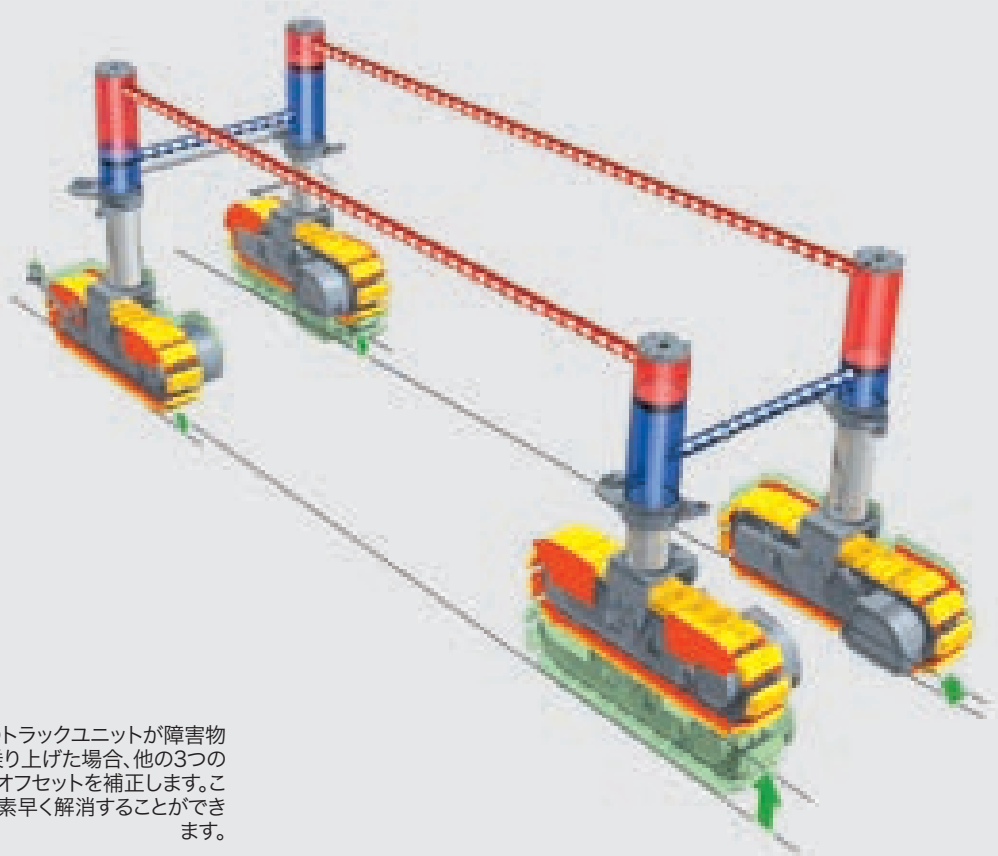
表示される作業現場パラメータにより、オペレータは日々の作業が行いやすくなります。

PTSー未来につながるインテリジェントマシン

路面に対して車体を平行に保つ自動サスペンションシステム

独自に開発したPTSシステムは設定した切削深さに適合して正確に車体高さをコントロールし、オペレータの作業を軽減します。PTSとは「Parallel To Surface」の略であり、施工中にシステムが自動的に機械を路面と平行に調整するものです。前後のリフティングコラムは均等にかつ平行に昇降します。

さらに、PTSシステムの一部を構成する4点振り子軸機構で機械の左右両側の不均衡を素早く調節します。この機構により、機械オペレータはこれまで手動調節が必要とされていた作業負荷の大部分から解放されます。

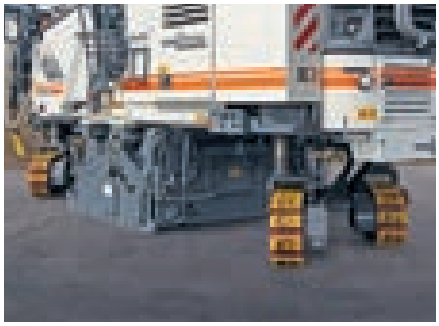


切削作業中に1つのトラックユニットが障害物（例えば高い切削端）に乗り上げた場合、他の3つのトラックユニットが高さのオフセットを補正します。このようにして、高さの差を素早く解消することができます。

ISC－小気味よい動きで機敏な足回り

4つのトラックユニットに、非常に小さい最小回転半径を可能にする大きなステアリング角度。

クラブステアリングにより、側面から切削面に簡単に接近することができます。



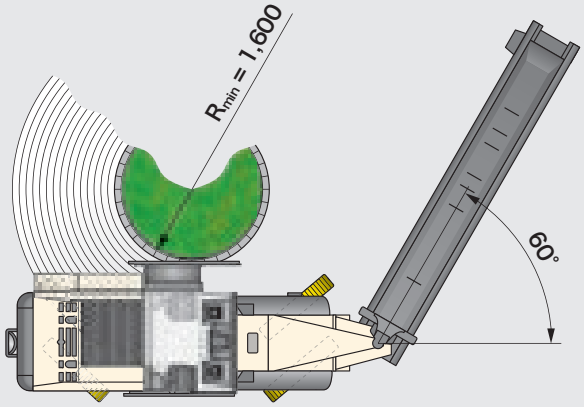
小さな旋回半径と正確なステアリング操作

機械の現場内移動や、あるいは狭いカーブやロータリー、市街地の道路の切削中など、様々な局面において、コンパクトな動きでW 200 H / W 200 Hiは小回りがきくため、正確な切削作業が可能です。

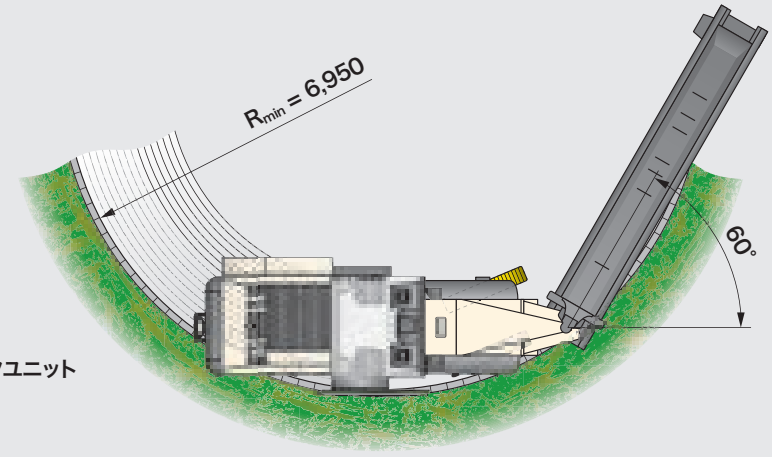
これは油圧式全輪ステアリングシステムによるものだけではなく、自由に選択可能なステアリングモード、独立した油圧式高さ調節または無段階調節可能な走行速度を備えたサスペンションユニットによって可能になったものです。

また、インテリジェントISCトラックコントロールシステムも不可欠です。このシステムには、電子式トラクションコントロールシステム、カーブにおける個別トラックユニットの自動速度調節、および最適化された走行速度の3つの基本機能が組み込まれています。

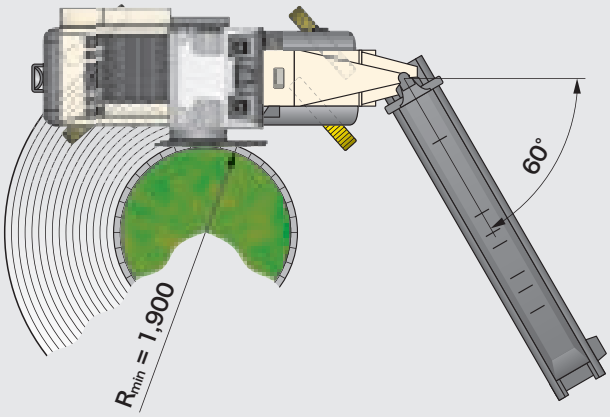
切削半径(切削深さ150 mm)
寸法(単位: mm)



切削ドラムユニット左側、
最大ステアリング角度左側



切削ドラムユニット右側、
最大切削円、切削面にトラックユニット
が入る



切削ドラムユニット右側、
最大ステアリング角度右側

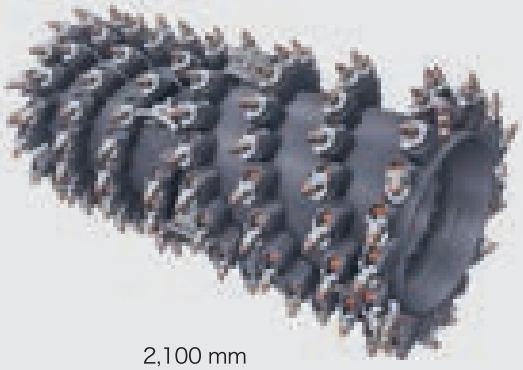
幅広いアプリケーション

切削幅2.1 m、最大切削深さ300 mm

W 200 H / W 200 Hiには、標準ドラムかファインミリングドラムを装備することができます。どちらの切削ドラムも作業幅は2.1 mです。標準ドラムは、表層、バインダ層、基層で構成されている舗装道路の路盤出しにも、個々の舗装層の切削にも適しています。また、標準ドラムは切削表面にその後の舗装に良好なインターロックをもたらす切削溝を形成します。一方、ファインミリングドラムは、薄層舗装アプリケーション用のベースに最適な細かいテクスチャ表面を作成します。また、ファインミリングドラムは、表面のコブ取りを行ったり、舗装道路の表面を粗くしたり、横すべり抵抗や表面平坦性を向上させたり、あるいはマーキングを除去したりする際に使用することができます。その幅広いアプリケーションはW 200 H / W 200 Hiの最適な利用を約束し、W 200 H / W 200 Hiを非常に経済的な切削機にします。

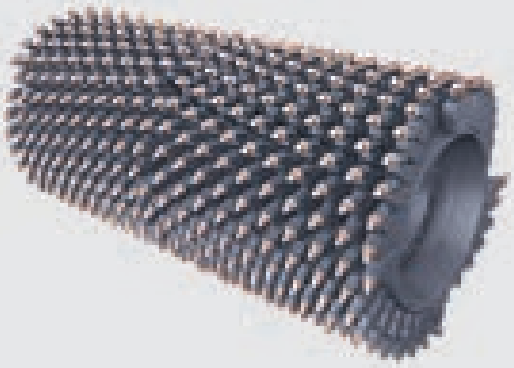
W 200 H / W 200 Hiは、さまざまな作業に役立ちます。機械の左右両側にあるサイドプレートはそれぞれ420 mm上昇させることができます。その結果、サイドプレートを縁石上に乗せて、切削ドラム側面を縁石際によせ、最大切削深さまでの正確な切削が可能となります。

›
電気油圧作動ビットエクスタラクタにより、機械の全体的な生産性が向上します(オプション)。



標準ドラム

切削幅:	2,100 mm
切削深さ:	0–300 mm
ビットライン間隔:	15mm (但し日本標準は18mm)



ファインミリングドラム

切削幅:	2,100 mm
切削深さ:	0–30 mm
ビットライン間隔:	6x2 mm

‹

左側および右側サイドプレートは420 mm上昇させることができます。

両側ゼロクリアランス機構で、逆送切削不要

この大型路面切削機は、
機械右側だけでなく…

… 左側の構造物際も切削することができます。

W 200 H / W 200 Hiは、切削ドラムユニットを油圧で右側に移動させることにより、交通の流れに沿って走行しながら、右側の構造物に沿って切削することができます。

W 200 H / W 200 Hiは、切削ドラムユニットを左側に移動させることにより、方向転換することなく機械左側のトラフィックコーンのすぐそばを切削することができます。

作業の次の段階では、機械を交通の流れに沿って移動させながら、左側の車線を簡単に補修することができます。

両側構造物際を切削可能

W 200 H / W 200 Hi大型路面切削機は、右側だけでなく左側もゼロクリアランスとなっています。これにより、W 200 H / W 200 Hiは、安全柵、縁石、建物の壁などの構造物のすぐそばを切削することができます。W 200 H / W 200 Hiは、特に方向転換できないような狭い道路でその性能を発揮し、交通の流れに沿って切削走行できます。この大型路面切削機は、左右にかかわらず、機械両側の道路境界のすぐそばを切削することができます。

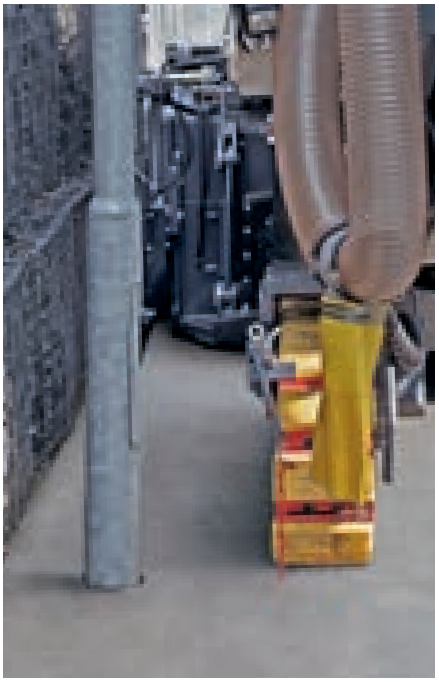
代表的なアプリケーションとしては、両側に安全柵が設置され、隣接する車線で車が走行している2車線道路の切削が挙げられます。W 200 H / W 200 Hiは、スペースがないために方向転換できない場合でも、左右の安全柵のすぐそばを切削することができます。廃材を運び出すトラックは、危険な方向転換を行うことなく交通の流れから出たり、この流れに合流したりすることができます。

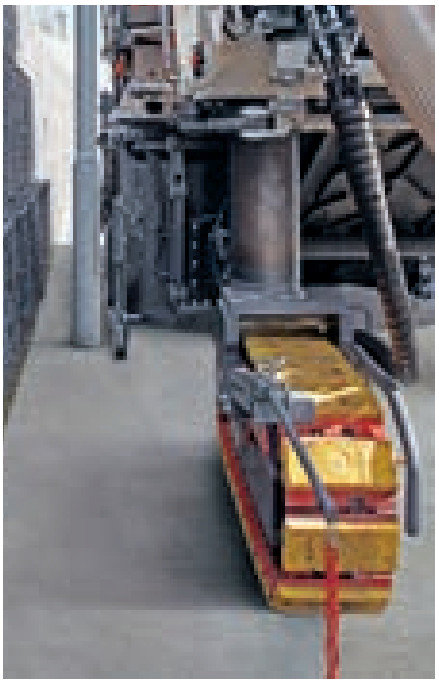
切削ドラムハウジング シフト幅800 mm

狭い場所でも性能発揮

W 200 H / W 200 Hiに装備されている切削ドラムユニットは、左右それぞれに油圧で400 mmずつシフトさせることができます。このシフト機構のメリットとしては、切削走行しながら、機械オペレータは切削端のコースを正確に調節し、マンホールの蓋や排水溝、街灯などの道路設備を避けて切削することができます。

さらにシフト式切削ドラムユニットにより、現場条件に応じて、切削レーンとクローラトラックユニットの走行レーンとの相対位置関係を最適な位置に調整することが可能となります。





切削ドラムユニットは、左右それぞれに400 mm移動させることができます。

障害物周辺の切削にまったく支障はありません。

VCSで快適な作業環境を提供

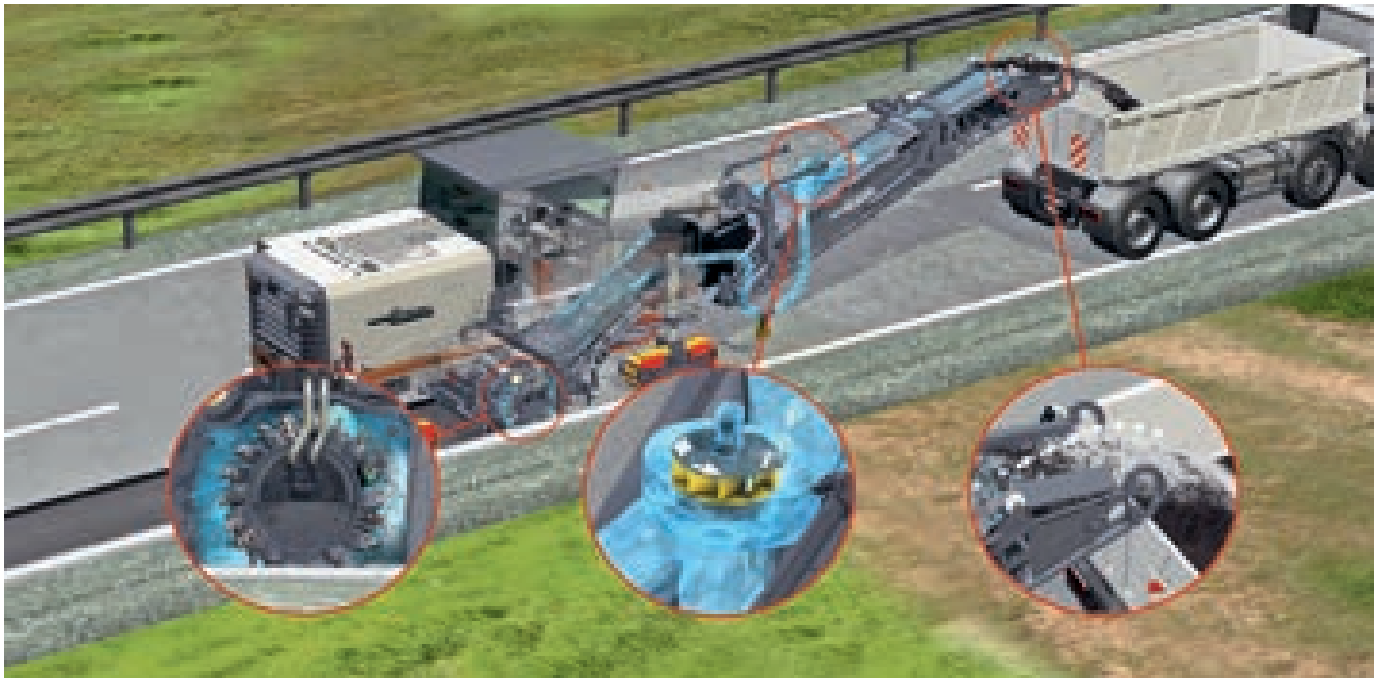
ブロワは、機械側面に取り付けられたホースを介して粉塵を吸い込みます。

クリーンな作業環境

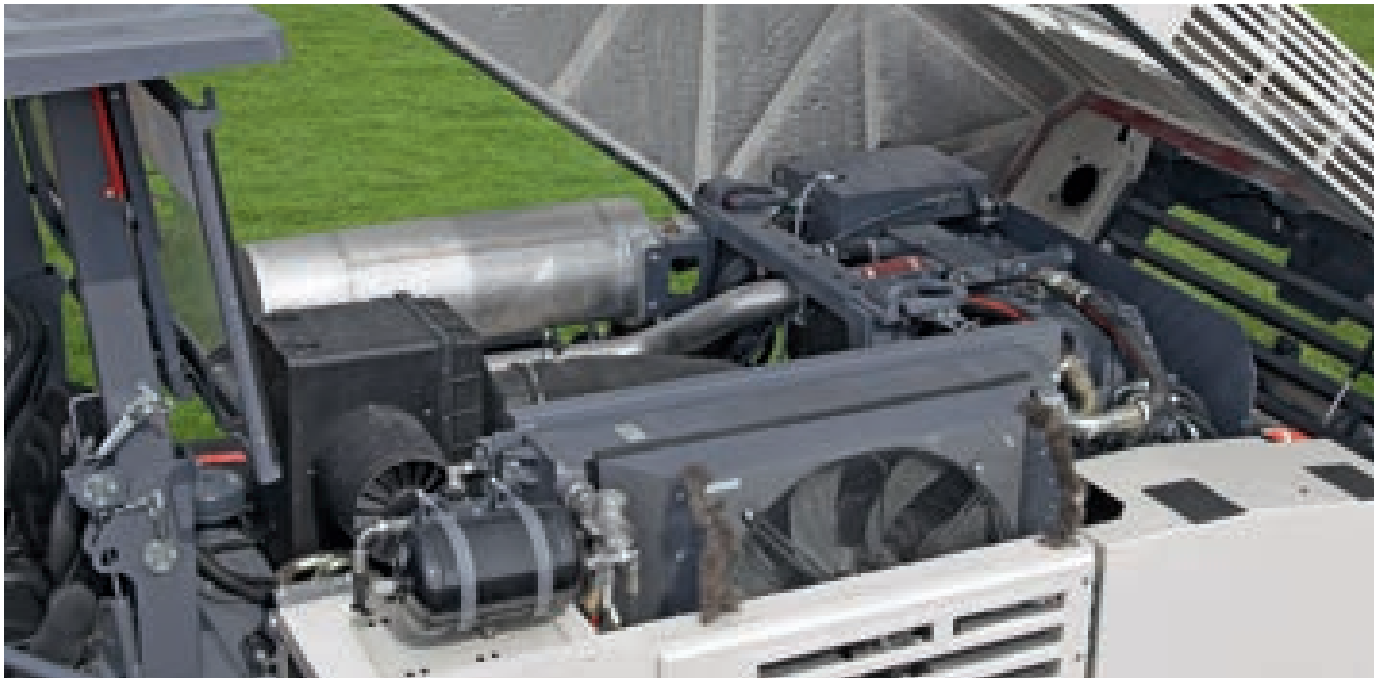
W 200 H / W 200 Hiを開発する際、オペレータの健康を特に重視しました。そのため、この路面切削機には粉塵を吸引するためのVCS集塵装置が搭載されております。その原理は簡単で、油圧式ブロワを回転させ、ドラムハウジング内に負圧をかけることにより、ハウジングから空気と水蒸気の混合物を吸引し、ホースシステムを介してコンベア上に運ばれる廃材の流れに戻すものです(NETIS登録：KT-110077-A)。

これにより、機械オペレータと地上要員の作業環境における空気の質と視界が改善されることで、オペレータの快適性が向上し、作業員のパフォーマンスも上がります。

エンジンやエアフィルタなどの部品の汚れが減り、部品交換が節約できます。機械清掃の手間が減るなど、集塵システムは様々なメリットをもたらします。

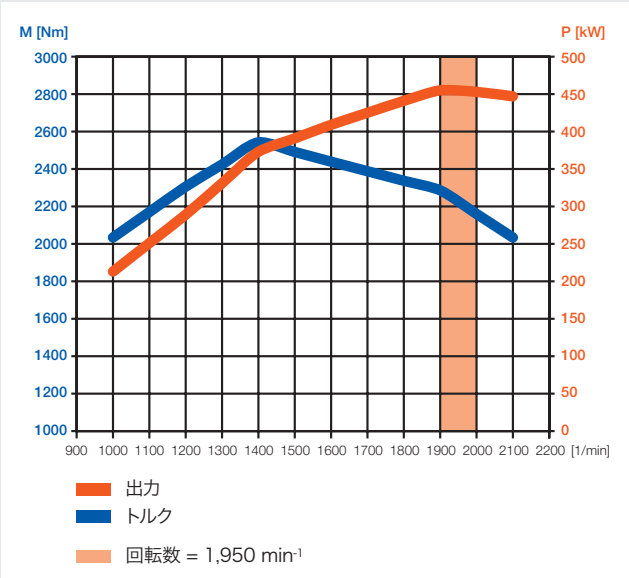


厳しい排出ガス規制に準拠



W200H – ハイパフォーマンスエンジン技術

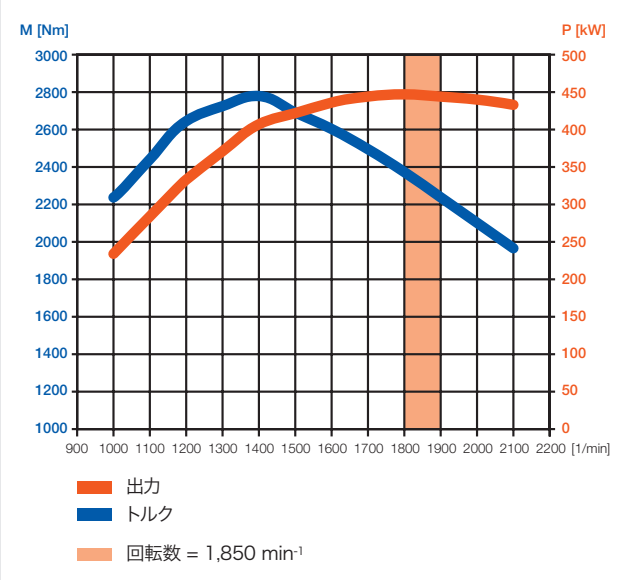
- W200H路面切削機に搭載しているエンジン技術はEC Stage 3a / US Tier 3以下排出ガス基準適合です(国内オフロード法 非準拠)
- W200Hに搭載の原動機はパワフルで経済的なECOディーゼルエンジンです。
- 完全電気制御WIDRIVEシステムでW200Hのエンジンは常に最適なパフォーマンス、トルクで稼働し、燃料費を含む様々な稼働コストを抑えます。



W 200 Hiに使用されているエンジン技術は、排気基準EC Stage 3b / US Tier 4iおよび国内オフロード法2011年少数生産車に準拠しており、排気ガスの後処理をさらに行うことを特徴としています。

- 双方向触媒コンバータとDPFのコンビネーションにより、汚染物質の排出を低減
- 特殊な「ダイレクトフロー」エアフィルタにより高耐久性を実現
- 冷却排気ガス再循環と可変式ターボチャージャーを搭載したディーゼルエンジンにより、低エンジン速度で高トルクを実現
- 汚染物質除去率は90%

W 200 Hi路面切削機のエンジン



W 200 Hi－環境保護の最適化

- 最先端のエンジン技術を搭載したW 200 Hiは、環境排出物の大幅な低減を実現するとともに、厳しい排出ガス基準EC Stage 3b / US Tier 4i / オフロード法2011年少数生産車に準拠しています。
- 効果的な排気ガス浄化を確実に行うために、W 200 Hiに搭載されているエンジンには双方向触媒コンバータとDPFが併用されています。
- ヴィードライブWIDRIVE機械管理システムは、全負荷状態であっても常に高い性能を発揮することを約束します。
- 機械のインテリジェントなディーゼルエンジンコントロールにより、W 200 Hiの運転費が削減されます。

優れた廃材積み込み能力

作業状況にかかわらず信頼性の高い廃材積み込み

W 200 H / W 200 Hiには、頑丈で技術的にも実績のあるコンベアシステムが装備されています。その性能は、大きな旋回角度、ワイドベルト、高さ調節グラデーション制御ビーム、可変ベルト速度など、多くの便利な機能によって実証されています。これらの機能により、施工現場で直面する様々な状況に柔軟に対応できます。

切削施工を行わないときは、インテリジェントWIDRIVE機械管理システムが動作モードを調節することによってコストを削減します。また、後進時や輸送モード時は、コンベア駆動を自動的に停止ます。さらにこのWIDRIVEシステムは、特定の状況、例えば切削施工中の廃材積込トラック入れ替えの際や、機械の走行駆動が停止しているときなどは、ディーゼルエンジンをアイドル速度に切り替えます。

左右60°の広い旋回角度により、廃材積み込み中の高い柔軟性を実現します。

切削ドラム前部には、高耐久性の油圧式リフティンググラデーション制御ビームがあります。

すばやく積み込んでさあ次の現場へ

インテリジェントロックシステムを装備した油圧駆動折り畳み式コンベアにより、さらなる安全を実現します。

ボタンを押すと、保護キャノピが折り畳まれて輸送の準備が整います。

輸送高さはわずか2.9メートル

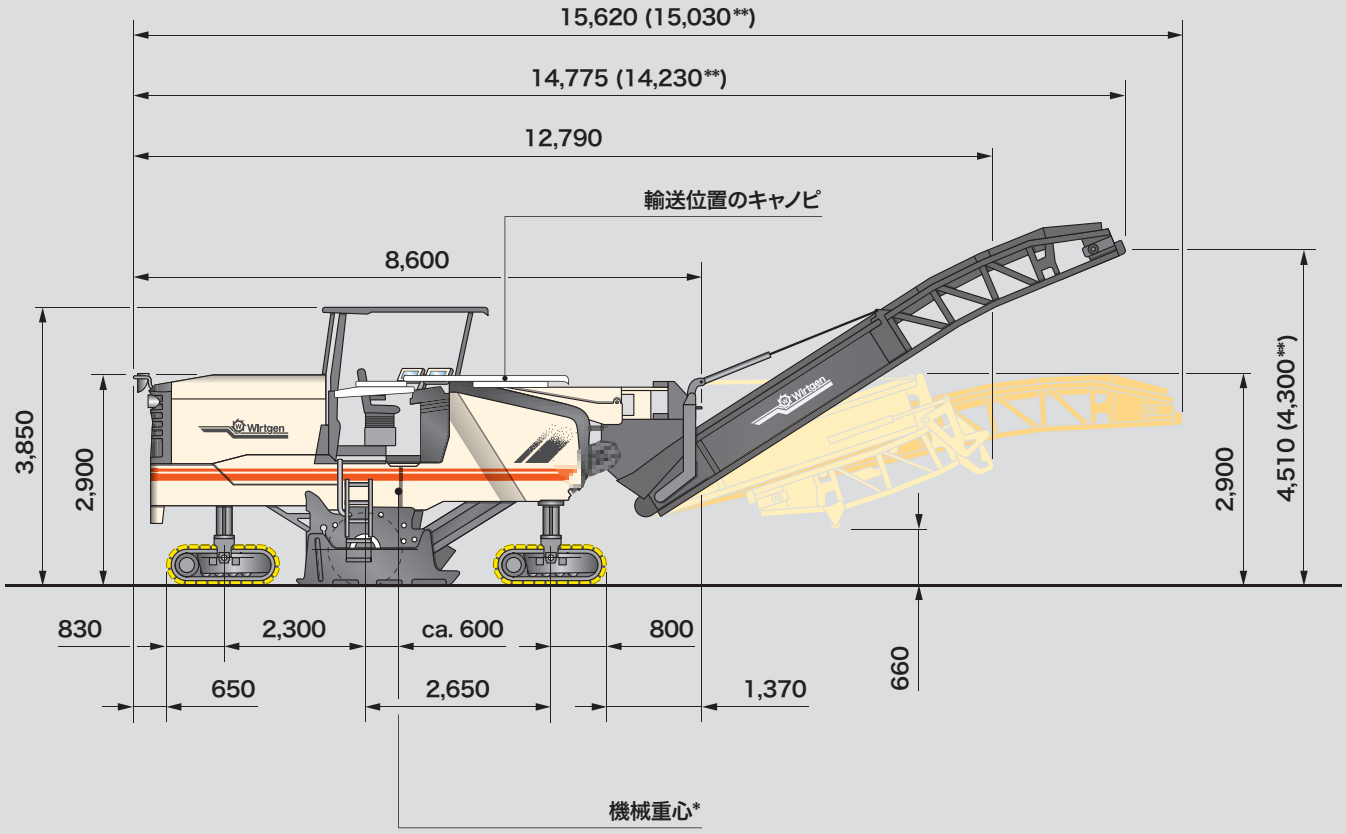
W 200 H / W 200 Hi大型路面切削機の輸送高さは、わずか2.9メートルです。

油圧折り畳み式コンベア設計では、より全長の短い輸送車両を使用できるようになります。

折り畳み式保護キャノピにより、機械の輸送高さは最小限になります。

車体フレームのフックポイントを使用し、機械をクレーンで吊るして平床トラックに安全に積み込むこともできます。

技術仕様
W 200 H/W 200 Hi

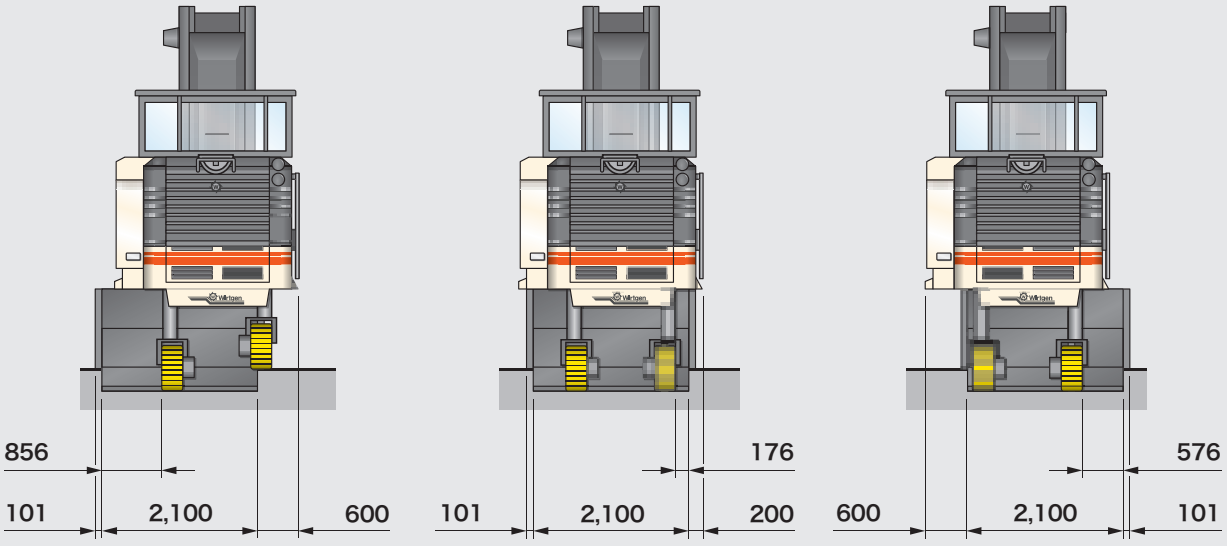


* = コンベアを伸ばした状態での作業質量、CEに基づきます。
** = ショートコンベアを装備した機械に基づきます。

機械質量	
タンク充填物がない状態での機械の本体質量	28,200 kg
作業質量、CE *	30,180 kg
切削幅2,100 mmでの最大作業質量（満タン、フル装備）	33,940 kg
タンク充填物質量	
水タンク（kg）	3,000 kg
ディーゼルタンク（0,83 kg / l）	750 kg

* = 本体質量は、1/2充填の水タンク、1/2充填の燃料タンク、オペレータ（75 kg）と工具（本体搭載）を備えた場合を表します。

本体質量からの追加機器装備の加重/減量	
オペレータと工具	
オペレータ	75 kg
ビット5箱の質量	125 kg
工具（本体搭載）	30 kg
オプション切削ドラム	
切削ドラム、切削幅2,100 mm、ビット間隔6x2	490 kg
標準追加機器	
コンフォートシート操作台	250 kg
キャノピ	280 kg
折り畳み式コンベア	520 kg
VCS－油圧モーター駆動式ブロワ集塵装置	220 kg



切削ドラムアセンブリ左側

ニュートラル位置の切削ドラムアセンブリ

切削ドラムアセンブリ右側

W 200 H / W 200 Hiの装備仕様

標準装備

ベースマシーン
- 両側くびれデザイン機械フレーム
- 油圧開閉、防音エンジンフード
- エアコンプレッサシステム
- 油圧シリンダおよび緊急時用バッテリ作動油圧モジュール
- 自動高圧散水システム、18 bar、67 l / min
- 温度制御速度可変ファンによるエンジン冷却システム
- ビット箱保管室
- ヴィルトゲン標準塗装

切削ドラムアセンブリ
- 両側ゼロクリアランスを備えた水平可動切削ドラム
- 切削ドラム速度3段階切り替え
- コンベア昇降機能付き油圧グラデーション制御ビーム
- 手動ロック機能付き油圧駆動リアスクレーパブレード
- 油圧昇降サイドプレート
- 切削ドラムアセンブリ内に電気式散水バー
- ビット交換用ドラムターニングデバイス
- 空圧ビットエクストラクタ
- ビット交換用後部クローラートラック折り畳み追加シート

切削ドラム
- 切削ドラム、切削幅2,100 mm、HT22クイックチェンジツールホルダシステム、ビット間隔18 mm
- 両側回転取り付け可能なイジェクタ

廃材積み込み
- 速度可変コンベアシステム
- 第1コンベア散水システム
- 油圧折り畳み式コンベヤ
- VCS－油圧モーター駆動式ブロワ集塵装置

機械およびレベリング制御
- マルチファンクションメインコントロールパネル
- マルチファンクションディスプレイ
- トラック廃材積込み量表示（コントロール画面上）
- 診断システム（コントロール画面上）
- 自動切削出力制御システム
- レベルプロ自動レベリングシステム (ディスプレイ3基)
- サイドプレート左右の切削深さ計測巻取センサー
- RAPID SLOPEクロススロープセンサー
- MDI(切削深さインデックス表示)
- 側面操作用外部コントロールパネル2個
- デジタル高さ表示
- 片側最大7個のレベリングセンサー取り付け口

操作台
- 完全防振操作台
- 個別位置調節可能コントロールパネル
- 左右からアクセスしやすい操作台
- コンフォートシート（左右）
- コントロールパネル用施錠可能カバー
- 機械前部ミラー2個、後部ミラー1個
- 油圧伸縮格納式キャノピ

シャーシおよび高さ調節
- PTS－自動車体平行姿勢制御
- ISC－インテリジェント走行クローラートラック速度制御システム
- 全連動4点振子軸サスペンション
- 自由選択ステアリングモード付全輪操舵
- 耐摩耗性の高いEPSポリウレタントラックパッド

その他
- 作業スポットライト11個の照明パッケージ
- 切削ドラム周辺のLEDライト4個
- 操作台周辺の「Welcome」および「Go home」ライト
- 施錠具付工具箱および工具キット
- 緊急停止スイッチ6個の安全パッケージ
- 欧州設計形式認証GSマーク（Geprüfte Sicherheit = 安全試験済み）およびCE準拠
- 6カ月またはエンジン稼働500時間標準保証
- 有資格者によるコミッショニング
- 取扱説明書および機械関連図書
- 油圧作動高圧散水クリーナー、150 bar、15 l / min
- モニターカメラ2基

オプション装備

ベースマシーン
- 特殊塗装、1色または多色

切削ドラムアセンブリ
- 最大2個の電気油圧作動ビットエクスタラクタ

切削ドラム
- 切削ドラム、切削幅2,100 mm、HT5ツールホルダシステム、ビット間隔6x2 mm
- 切削ドラム取り付け台車

機械およびレベリング制御
- 追加レベルプロコントロールパネル
- 2個の追加超音波センサーを含むマルチプレックスシステム
- 4個の追加超音波センサーを含むマルチプレックスシステム
- レーザー信号受信機(レーザー信号送信機は除く)
- 受信機マストを含む3D MCレベリングインターフェイス

操作台
- 足元ヒーター
- 電動折り畳み式ミラー（Stop、Goサイン付き）

その他
- 油圧作動水タンク給水ポンプ
- ハロゲン5個とLEDスポットライト6個の照明パッケージ
- 機械後部大型保管ボックス
- モニターカメラ追加4基(合計6基)
- 追加モニター用ディスプレイ
- カウンターウエイト

技術仕様 W 200 H/W 200 Hi

切削ドラム		
切削幅	2,100 mm	
切削深さ*1	0–300 mm	
ビット間隔	15mm (但し日本標準は18mm)	
ビット数	190 (但し日本標準は169)	
ビット装備時ドラム直径	900 mm	
エンジン	**W 200 H**	**W 200 Hi**
メーカー	CUMMINS	
型式	QSX15	
冷却方法	水冷	
シリンダ数	6	
定格出力2,100 min^{-1}	447 kW/600 HP/608 PS	433 kW/580 HP/589 PS
最大出力1,800 min^{-1}	bei 1,900 min^{-1} 455 kW/610 HP/619 PS	bei 1,800 min^{-1} 447 kW/600 HP/608 PS
排気量	15 l	15 l
定格出力での燃料消費	116 l/h	116 l/h
標準的な現場での燃料消費	46 l/h	46 l/h
排気基準	EU Stage 3a/US Tier 3/	EU Stage 3b/US Tier 4i/ オフロード法2011年少数生産車
電気システム	24 V	
タンク容量		
燃料タンク	900 l	
作動油タンク	400 l	
水タンク	3,000 l	
走行能力		
切削および走行ギアでの走行速度(最大)	0–85 m/min (5 km/h)	
クローラートラック		
クローラートラック(長さx幅x高さ)	1,630 x 260 x 590 mm	
コンベアシステム		
第1コンベアベルト幅	800 mm	
第2コンベアベルト幅	850 mm	
コンベア排出能力理論値	375 m^3/h	
運搬時寸法		
本体寸法(長さx幅x高さ)	8,590 mm x 2,500 x 2,900 mm	
コンベア寸法、ロング設計(長さx幅x高さ)	7,900 x 1,450 x 1,500 mm	

*1 = 許容差と摩耗により、最大切削深さは表示値と異なることがあります。

WIRTGEN JAPAN

ヴィルトゲン・ジャパン株式会社
東京都千代田区神田神保町2-20-6
恒倉ビル3F　〒101-0051
TEL:03-5276-5201 FAX:03-5276-5202
茨城サービス工場
茨城県古河市谷貝478-1　〒306-0113
TEL:0280-78-4098 FAX:0280-78-4102
www.wirtgen.co.jp / e-mail:mail@wirtgen.co.jp

図面は参考です。技術データは予告なしに変更することがあります。
性能データは運転条件により変動します。**Nr.2274555** 11-11 JA-11/13 by Wirtgen GmbH 2013. Printed in Germany